

<b>科目名：介護技術〈含、口腔リハビリテーション〉</b>		必	1 単位
( Care Skill 〈including Oral Rehabilitation〉 ) 履修年次/時期：3年次 前期 授業形態：講義・実習 担当教員：宮城敦*、中向井政子*、小堀陽子*、今泉うの*、黒田英孝*、中村仁志* (*：実務経験有)			
学修目的	介護を要する老年期にある対象や障害を有する対象の特徴を理解すると共に、歯科治療における介護の方法や基本的な介護技術について、安全で安楽に実践するための知識・技術および態度を習得する。 DP 1-(1)(2), 2-(2)(3), 3-(2)(3)、 CP 2, 3, 6 に関連する。 科目 No.S3B07H03		
到達目標	① 高齢者の基礎的知識である身体的・精神的・社会的特徴を理解し説明できる。 ② 障害者の基礎的知識である身体的・精神的・社会的特徴を理解し説明できる。 ③ 日常生活に必要な基本的介護技術を習得する。 ④ 摂食嚥下機能の評価方法を学び、その機能を維持・増進するリハビリテーションや口腔機能管理方法を習得する。 ⑤ 要介護者や障害者に適した食物形態や必要栄養量について説明できる。 ⑥ 緊急時に必要なバイタルサインの測定法や救急蘇生法について習得する。		
授業概要	講義：高齢者の基本的特徴等を再確認する。また、ヒトの基本的な摂食嚥下機能とその評価法について学ぶ。 実習：高齢者体験により高齢による機能低下の実際を体験する。実際の基礎的介護技術（移乗・体位変換等）を学び、歯科衛生士の立場からどのように生かしていくか議論する。摂食嚥下評価、リハビリテーション、吸引、および口腔衛生管理を互いに実践して理解し、考察する。バイタルサインや救急蘇生法についても実習を通してその重要性や必要性を理解する。		
評価方法	学期末試験（50%） レポート等提出物（40%） 実習への参加度（10%） 試験に対するフィードバックは掲示で行う。		
予習・ 復習時間	【予習】0.9時間 【復習】0.9時間		
教科書	A「イラスト図解 いちばんわかりやすい介護術」永岡書店 B「歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版」医歯薬出版		
参考書	「最新歯科衛生士教本 高齢者歯科」医歯薬出版 「歯科衛生士講座 高齢者歯科学」永末書店		
問い合わせ 連絡先	宮城 敦 月 16:40~17:00 miyagi@kdu.ac.jp メールにて連絡ください 中向井政子 月~金 12:40~13:20、16:30~17:00 3号館2階研究室 nakamukai@kdu.ac.jp 小堀陽子 月~金 16:40~17:00 3号館2階教員研究室 kobori@kdu.ac.jp 今泉うの 月~金 17:00~18:00 附属病院9階医局 imaizumi@kdu.ac.jp 黒田英孝 月火、木金 17:00~18:00 附属病院9階医局 kuroda@kdu.ac.jp 中村仁志 月~金 16:40~17:00 3号館2階研究室 h.nakamura@kdu.ac.jp *各教員、事前にメールをいただくと確実に対応可能です。		